

いがおえ工友

亀に乗ってマリンスポーツ? (笑)

ニックネーム:

本誌へのメッセージ:



きりとり

CHECK 看護師・介護福祉士・看護補助員を募集しています!! お気軽にお問い合わせください ☎ 059-382-1401 WEBはこちら 鈴鹿厚生病院

ほっとニュース

曇り気だけでも 夏フェス気分を!

新型コロナ感染拡大により、中止を余儀なくされた夏フェスも3年目を迎え自粛の日々が続いております。当院合同レク委員の中でなんとか実行に向け検討した結果、開催は無理でも曇り気だけでも味わってもらおうと、恒例であった流し灯籠・大ぼんぼり作成をし、東棟・西棟中庭に飾り付けをし、少しでも入院患者さまの癒やしになればと今回決定に至りました。是非ご期待ください。

今後も合同レク委員会では、コロナ禍で出来る事に最善を尽くし患者さまに提供していただけるように日々検討・実行してまいります。



2018年の様子

●外来診療担当医表

		月	火	水	木	金
午前	初診	交代制	交代制	交代制	交代制	交代制
	再診	高山	中澤	林	西浦	鈴木
午後	再診	中瀬	野村	金原	中瀬	大井
		河合	西浦	宇佐見	高山	大井
		濱口	野村		山村	前田
			金原			

担当医は都合により変更になる場合があります。ご了承ください。

2020年4月より敷地内禁煙となっております

編集後記

今号は「外国籍スタッフの紹介」などをお伝えしました。さて、広報委員のスタッフは「Live with すずか」の名のとおり、皆さんと一緒に創っていきたくと考えております。本誌へのご感想やご要望・ご意見がございましたらお気軽にご連絡ください。

TEL・059-382-1401 (代表)
FAX・059-382-1402
Eメール・info@skh.miekosei.or.jp



三重厚生連 鈴鹿厚生病院

第70号
2022.7月

発行/三重県厚生連鈴鹿厚生病院
編集/TCK名古屋
所在地/三重県鈴鹿市岸岡町589-2
TEL/059-382-1401
ホームページ/http://www.miekosei.or.jp/skh/

ともに生きる... Live with すずか

地域の皆さんのお役に立ちたい情報誌

外国籍スタッフの紹介

今、さまざまな介護施設の現場に外国人スタッフが増えてきていることをご存じでしょうか?

現在日本は深刻な人手不足の問題を抱えています。この問題は医療・介護の分野も同様です。厚生労働省によると、「団塊の世代が全て75歳の後期高齢者となる2025年の時点で、全国でおおよそ33万人の介護職が不足する」という推計を明らかにしました。こうした状況の中、政府は外国人材の積極的な受け入れを導入してきました。

当院も、2021年度より、外国籍介護福祉士を受け入れています。今年度も4名が外国籍介護福祉士として入職し、現在男女合わせて5名が就労しています。認知症治療病棟と、高齢者が多く身体的ケア・介護の多い療養病棟で勤務しています。



実際、外国籍スタッフ受け入れる際には、「日本語はどれくらい通じるのか?」

「患者さまは受け入れてくださるのか?」などさまざまな不安がありましたが、受け入れ2年目となり、現場に活気が出てきました。



外国籍スタッフを介護職で雇用するためには、の4つの制度があります。※1 当院で働く外国籍スタッフは、在留資格「介護」※2での就労となっています。

当院の外国籍介護福祉士は、スリランカ、ネパールの国籍を有しています。患者さまは、朗らかで高いホスピタリティもある外国籍介護福祉士をすぐに受け入れ打ち解け、日本人スタッフの意識にも良い影響を与えております。一所懸命に取り組む姿に触れ、外国籍介護福祉士と協働していくことに好意的な言葉が多く聞かれるようになりました。

強い意志を持って来日し、日本の介護福祉士養成学校で2年間しっかりと学んだ彼らの技術は高く、信頼できる人材です。今後、外国籍の介護福祉士に最大限活躍してもらうため、さらにサポート体

制を整えていくことが課題といえます。同じ働く仲間として、単なる労働力としてだけでなく、ひとりの人間として一緒に成長していける組織を目指していきたいと考えています。

病院へご来院された際にお見かけになられましたら、あたたかく見守って頂けますと幸いです。



- ※1
1. EPA介護福祉士候補生 (2008年~)
インドネシア、フィリピン、ベトナムの3カ国の看護・介護の有資格者
2. 在留資格「介護」(2017年9月~)
3. 技能実習 (2017年11月~)
4. 特定技能 (2019年4月~)

※2
在留資格「介護」は、日本の介護福祉士養成学校を卒業した「介護」をもって在留資格「介護」を持っています。養成学校に入学する要件として、日本語能力検定N2以上に合格、もしくは日本語養成機関で6ヶ月以上学習し、日本語試験で、N2以上と確認できることとなっています。

心の健康セミナー 誌面版

心の健康セミナー誌面版は「こころ」に関するテーマに沿って毎月連載していくコーナーです。

ご挨拶

はじめまして、令和4年4月より赴任致しました三浦英之と申します。鈴鹿厚生病院は初めてで、また精神科病院も携わった経験がないためわからないことだらけです。まずは、当院の理念である「ささえあい、ともに生きる」を実現できるよう笑顔と感謝を忘れず患者さまと接していけたらと思います。そして、色々な経験を積み少しでも早く鈴鹿厚生病院の一員として皆様のお力になれるよう努めて参りたいと思います。至らないこともあるかと思いますがどうぞよろしくお願い致します。



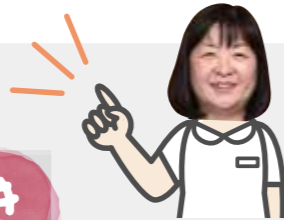
医事課長
三浦 英之

この度、4月に三重北医療センター 孤野厚生病院より赴任しました管理栄養士の中谷理恵（なかたにりえ）と申します。精神科病院は初めての経験があります。新しい環境にてまだまだ戸惑うことも多いですが、『食』を通じて患者さまに楽しみや喜びを与えられるように、また、安心・安全な生活が送れるように、栄養面でのサポートと併せて行えるよう日々努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



管理栄養士主任
中谷 理恵

看護部長の



デイケアではたくさんの種類のプログラムがありますが、その中に「クリーンあるく」というプログラムがあります。これはデイケア利用者の方々が、スタッフと一緒に病院から千代崎駅までの道路のゴミを拾う清掃活動となっています。こんな大切な活動をしていることも知っていただきたいと思っています。



♡ きゅうりとささみのザーサイ和え ♡

きゅうりは一年を通してスーパーで売られていますが、本来の旬は夏です。95%以上が水分で栄養価よりは歯切れの良さやみずみずしさを味わう野菜と言われています。栄養素としては、免疫力を高めたり美肌作りに貢献したりするビタミンC、むくみの解消や体内の塩分を排出するカリウム、便秘解消に効果が期待できる食物繊維、皮にはβ-カロテンが多く含まれています。また水分が多いため体温を下げる効果もあり、暑い夏には適した野菜です。



材料 (2人分)

きゅうり	2本
鶏ささみ	2本
ザーサイ	30g
梅干し (梅肉)	2個
塩	少々
酒	大さじ 1
ごま油	大さじ 1/2
白だし	小さじ 2

DATA (1人前)

- エネルギー / 97kcal
- 蛋白質 / 11.5g
- 塩分 / 1.7g

作り方

- 1 ささみの筋を取り、沸騰したお湯に塩、酒を入れて弱火で5分ほど茹でる。
- 2 ①の粗熱をとり、手でほぐす。
- 3 きゅうりは両端を切り落とし、縦半分に切り、斜めに薄切りする。
- 4 梅干しは種を除きざく切りに、ザーサイもざく切りにする。
- 5 ボールにささみ、きゅうり、梅干し、ザーサイを入れ、ごま油、白だしを加え混ぜ合わせる。



スマイリー バトンリレー

看護部

看

看護部では、方針を①患者さまの人権を尊重し、患者さまの自己決定を支援します。②医療従事者としての倫理観を高め、質の高い看護を実践するために研鑽を積みみます。③安全で安心できる医療環境を提供します。④地域との連携を深め、患者さまがその人らしく生活できるよう、継続看護を充実しますとしています。この方針をもとに、精神科看護を実践しています。これからもより良い看護実践ができるよう努力を重ねていきます。

地域の関係機関のご紹介



地域包括支援センター

鈴鹿第5地域包括支援センター (ひいらぎ)

鈴鹿第5地域包括支援センター(ひいらぎ)は、玉桜まちづくり協議会圏域を担当させていただき、地域の高齢者の方々が住み慣れた地域でいきいきと安心して生活することができるよう、医療・介護・福祉など様々な生活の中の困りごとなどをお伺いさせていただき対応している総合相談窓口です。



愛称である「ひいらぎ」は、鬼を退治してくれる魔除けとしても知られています。地域で生活されている高齢者の皆様やそのご家族様の困りごとが魔除け?できるよ、主任介護支援専門員・社会福祉士・看護師が各関係機関や地域の方々と連携し対応させていただきます。

お電話での相談、ご来所での相談のほか、ご自宅などに訪問させていただいての対応も致しております。介護に関することだけでなく、寝たきり予防や転倒予防、ちょっとした生活の中の困りごとにつきましても、お気軽にご相談ください。

作業療法 活動紹介

「折り紙アート」



コメント

創作グループの時間に折り紙アートの本を見て作りました。折り紙9枚で簡単に作れるので、是非作ってみてください。サイズと翼の部分はアレンジしました。

理念

ささえあい、ともに生きる

基本方針

- 患者さまや地域の皆さまに、信頼され選ばれる病院づくりを行います。
- 患者さまが地域で快適な生活が送れるよう、積極的にサポートします。
- 患者さまの人権を尊重し、きめ細かく配慮します。
- 患者さま一人一人の治療プランに添った医療を行い、一日も早い家庭・社会復帰を目指します。
- 地域におけるメンタルヘルズに積極的に取り組みます。
- 医療の質向上に向けて日々研鑽を積みみます。

患者さまの権利

- 患者さまは、ご自身の身体、健康などにかかわる状況を正しく理解し、最善の医療を受けるために、必要な医療情報を知ることができます。
- 患者さまは、医師及び医療従事者から十分な情報提供とわかりやすい説明を得た上で、医療を受けることができます。
- 医療機関及び医療従事者が取得した患者さまの個人情報を守られ、事前の同意なくして第三者に開示されません。
- 患者さまは、必要かつ十分な医療サービスを受けることができ、いつでも希望や意見を述べるができます。